

《「はらまち九条の会」の皆さまへ》

「鈴木安蔵を讃える会」(会長志賀勝明)からのお願い

小高区の憲法学者鈴木安蔵の旧住宅を保存管理し、鈴木安蔵の業績を広めるために2020年8月に設立された「鈴木安蔵を讃える会」は、「はらまち九条の会」とは協力関係にあります。

現在、鈴木安蔵の旧住宅は<下記事>のように老朽化しシロアリ被害にあい、「シロアリ駆除、土台・床・畳の新調」の修復中で、7月中に竣工します。「鈴木安蔵を讃える会」は全国からの会員が約400名、年会費は2,000円や協力金で運営していますが、さらに新会員を募集しています。

▶5月4日『福島民友』



国登録有形文化財となっている鈴木安蔵の旧家

南相馬市小高区出身の憲法学者で日本国憲法の間接的起草者とされる鈴木安蔵(1904~88年)の旧家の老朽化が進んでいる。シロアリの被害や地震による壁のひび割れなどが生じ、修復には多額の費用が必要になるとみられる。地元住民らでつくる「鈴木安蔵を讃える会」は修復に向け、市などに支援や理解を求める方針だ。

鈴木安蔵の旧家、老朽化
小高・憲法学者 シロアリ被害深刻

「讃える会」修復支援求める

讃える会によると、同市小高区に残る旧家は木造平屋で、大正後期〜昭和初期にかけて建設されたとみられ、2018年に国登録有形文化財に指定された。東日本大震災と東京電力福島第1原発事故の影響で子孫が避難して空き家となっていたが、旧家の保存・活用を望む声が高まり、地元住民らが20年に讃える会を設立、子孫の了解を得て清掃や庭の手入れなど維持管理を行ってきた。



シロアリの被害で傷んだ旧家の床

の壁も昨年3月の地震などでひびが入っている。国登録有形文化財の場合、固定資産税の減免や修理に必要な設計監理費の補助を受けることができるが、修復費全額の補助は受けることができない。修復費がどの程度となるか見通せないため、讃える会は今後、業者に見積もりを依頼して費用を算出する予定。

讃える会の志賀勝明会長(74)は「現在、会員からの会費で維持管理をしているが、修復には多額の費用がかかる。(鈴木安蔵の)業績を広く知ってもらうためにも貴重な文化財を残してほしい」と切実な思いを語った。

- 「鈴木安蔵を讃える会」に入会や協力金のご支援の方は、
 <お申し込み先> 会長志賀勝明 (TEL090-9530-5524)、事務局山崎健一 (TEL090-7527-5453)・Eメール: yamazakiken1@gmail.com)、若松麟二 (TEL090-4929-7227) へ。
 <年会費や協力金の振込み先> : あぶくま信用金庫小高支店 口座番号: 0292418
 受取人: 鈴木安蔵を讃える会 代表者志賀勝明

会場・主催：南相馬市博物館
時間：各日曜日 13:30～

原町生まれの
ドキュメント映画監督
亀井文夫
映画上映会



○生涯、反戦・反核・反原発・反基地・反差別・反環境破壊を訴え続けた原町区本町生まれのドキュメント映画監督、亀井文夫(1908～1987)。その代表的な12作品の映画上映会が、毎月1回、南相馬市博物館で開催されています。

○原発事故後、反原発や反核兵器運動で静かに注目を集めている亀井文夫の映画です。すでに①②③回が終了していますが、市外や県外からの熱心な入場者もいて、好評ということです。

<今後の上映会日程>

- ④ 8月27日(日)『人間みな兄弟～部落差別の記録』1960年・戦後も残る部落差別を子どもを通して描く・59分
『荒海に生きる～マグロ漁民の生態』1958年・28分
 - ⑤ 9月24日(日)『世界は恐怖する～「死の灰」の正体』1957年・放射能や死の灰の恐怖を赤裸々に訴える・80分
 - ⑥ 10月29日(日)『生きていてよかった』1956年・広島長崎の被爆者の劣悪な生活実態や偏見を告発する・52分
『流血の記録 砂川』1956年・米軍立川基地の怒りの砂川闘争の記録映画・56分
 - ⑦ 11月26日(日)『女ひとり大地を行く』1953年・山田五十鈴・宇野重吉主演、女坑夫の劇映画・127分
 - ⑧ 12月17日(日)『日本の悲劇』1946年・戦争犯罪を追求した作品。GHQはフィルムを没収した・39分
『小林一茶・信濃風土記より』1941年・28分
 - ⑨ 1月21日(日)『戦ふ兵隊』1939年・陸軍省の後援で制作するが反戦映画として完成。直ちに公開禁止になり、亀井は治安維持法違反で10カ月投獄された・66分
 - ⑩ 2月25日(日)『上海』1938年・中国を侵略する勇ましい日本兵だが、実は巧妙な厭戦映画に・76分
- <終了> ①5月7日(日)手塚陽監督『人間よ傲るなかれ～亀井文夫の世界』1993年・亀井文夫監督の各作品の紹介・183分
②6月25日(日)『トリ・ムシ・サカナの子守歌』1987年・160分
③7月16日(日)『みんな生きなければならない』1983年・80分

<<事務局より>>

「総会・映画会」を6月18日4年ぶりに開催。会員の約1割の40名のご出席をいただき、ありがとうございました。お忙しい中、遠方から足を運ばれた会員さんもおられ、感謝申し上げます。

年会費千円の納入についてですが、「送金料もかかるし、5年分まとめて5,000円を納入します」と直接持参される方も最近増えています。会計係としても有難いお申し出です。(井上)

会報の『九条はらまち』も今年中に400号発行になります。本会も12月7日に満18年を迎え、それを記念して『会報集録③』を経費を掛けず、手作りで30部発行してはどうでしょうか。ささやかな市民活動のアナログの「紙の記録」ですが、各図書館、資料館などに収納が主目的で、希望者にも頒布する。ご意見をお待ちします。

「はらまち九条の会」事務局

- 会長：平田慶肇 TEL(0244) 24-1211
- 事務局長：早坂吉彦 TEL090-2975-2508
- 事務局次長：山崎健一(福島市) TEL090-7527-5453 Eメール：yamazakiken1@gmail.com
- 会計：井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内 TEL22-7511・FAX26-0892
- 石田賢二(郡山市) TEL080-5556-4037 ○番場恵子 TEL22-0715 ○大浦祥見 TEL24-0704
- 志賀勝明(相馬市) TEL090-9530-5524 ○若松麟二 TEL090-4929-7227 ○田中徳雲(小高区)

